



# 家庭学習のすすめ Vol.5



大崎町立大崎中学校  
校長 安藤 晋哉 教頭 廣瀬 孝一

【生徒数】	309名	280戸
1年生	108名	
2年生	99名	
3年生	102名	

## 【学校教育目標】

「夢実現に向け 自ら学び 互いに尊重し合う  
心身ともにたくましい生徒を育成する」

## 【校訓】

「剛健」「共生」「向学」

## 【キャッチフレーズ】

**アクティブ大崎中**

～みんなが応援したくなる学校をめざす～

本校では、「習得サイクルによる学力向上」に取り組んでいます。習得サイクルとは、『予習』→『授業』→『復習』→『予習』→…を繰り返す学習であり、このことにより、家庭学習の徹底を図ることを目標としています。生活の記録には、次の「家庭学習の心得」が記載されており、学習方法を確認することができます。（※ここでは、「家庭学習のポイント」を省略しています。）

## 家庭学習の心得

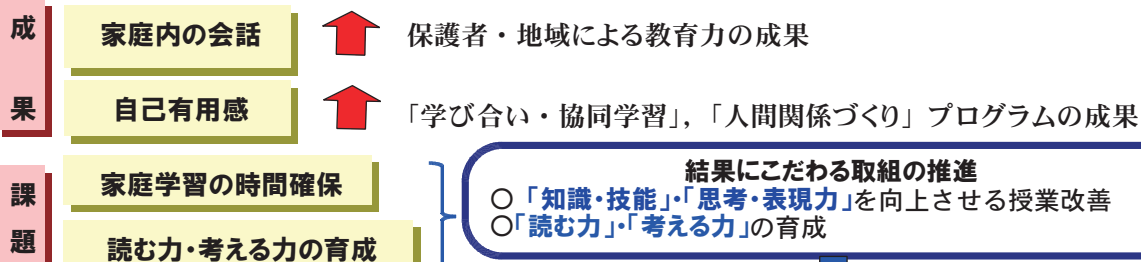
- 1 家庭での学習は、「決まった時間」に、「決まった場所」で、毎日行う。
- 2 学習の順序は、次の流れを参考にするとよい。  
「生活の記録」を確認 → 宿題 → 授業の復習 → 授業の予習 → 独自の勉強
- 3 学習時間は、学年プラス1時間を目標にし、少なくとも1日2時間は行う。
- 4 家庭での学習環境を整え、学習の妨げになるものは周辺に置かない。
- 5 宅習ノートの取り組み方(例)  
※ ノート上段に「取り組んだ日付、取り組み始めた時間、終わった時間、かかった時間」を記入する。

4月10日(月) 17:30~18:04 (34)  
明日の小テストに向けて、20の英単語を確実に覚える。

「取り組む内容」と「ねらい」を記入してから始めると、何をどのような目的で学習するのか意識することができ、効果が上がる。

- 6 テスト前には、少なくとも1週間前に「テスト範囲表」を確認して「テスト勉強計画」を立て、計画的に学習を行う。
- 7 各教科の学習のポイントをまとめた「家庭学習のポイント」を熟読し、自分の学習に生かす。
- 8 漢字検定や英語検定等に挑戦し、学習の成果を確かめる機会を自分から作る。

※ 平成30年度「全国学力・学習状況調査」より



生徒が本来持つ学力の伸長=学校・家庭・地域との連携(計画的な学習, 音読の励行支援等)